

マイナポイント制度の実施に伴う マイナンバーカードの申請状況は

問 個人消費の拡大とマイナンバーカードの取得促進を目的に、一人当たり最大五千円分のポイントが付与されるマイナポイント制度が令和二年九月から始まったが、本市におけるマイナンバーカードの申請状況は。

答 市民福祉部長／令和元年度における月平均の申請件数は五百五十件程度であったが、マイナポイント制度の周知が進むにつれて申請が増えており、令和二年四月は千件を超え、マイナポイントの予約申込みが開始された七月は約二千件、八月は約二千二百件と増加している状況にある。

渡部 一二実 形式一 括



災害時におけるコロナ禍を踏まえた 避難行動の普及・啓発を

問 災害時には、自らの判断で最善の安全を確保する行動が求められているが、コロナ禍を踏まえた避難行動について、市民に普及・啓発する考えは。

答 危機管理監／災害から逃れるためには、平時から地域の災害リスクを確認し、災害時に取るべき行動への理解を深め、自らの判断で避難行動を取ることが重要である。コロナ禍においては、避難所内での感染拡大を防ぐ観点から、市指定の避難所への避難だけではなく、安全を確認した上で自宅にとどまって避難生活を

をする在宅避難や災害リスクのない場所での車で過ごす車中泊避難など、様々な形態による分散避難が求められており、避難所以外への避難の検討について市民一人一人の理解と協力が不可欠となる。このことから、今後は災害リスクや避難場所等の確認をするのに重要なツールであるハザードマップ等を活用し、避難先の周知を含めた適切な避難行動について、さらなる普及・啓発を図っていく。



▲ハザードマップ等で事前に災害リスクなどの確認を

梶 泰久 形式一 括



公共工事の施工時期の平準化 に対する認識は

問 公共工事の施工時期の平準化に対する本市の認識は。

答 建設部長／年度初めは入札手続に時間を要するため、公共工事の発注量が少なくなる傾向にあるが、これを平準化し、年度を通じた切れ目のない計画的な公共工事の発注をすることに、建設業者の経営効率化や安定化が図られ、担い手の処遇改善や確保につながるとともに、人材や資機材の効率的な活用により、さらなる生産性の向上や品質管理の向上が図られるものと認識している。

小澤 隆 形式一 問一答



新しい沼津市教育大綱の 策定に向けた市長の決意は

問 新しい沼津市教育大綱について、①策定に向けた市長の決意は。②その目的、基本方針を具現化するための教育政策は。

答 市長／①教育は、人として持つ豊かな人間力や健やかな心身を涵養するために最も基本となるものであり、本市ならではの特色ある教育の推進を図るために定める教育大綱は極めて重要であると認識している。このため、社会状況や沼津市教育基本構想の実績評価、現在策定中の第五次沼津市総合計画等を踏まえ、沼津市教育大綱を新たに策定すること

とし、その目的や基本方針が本市の教育のさらなる発展につながるよう、引き続き教育委員会と連携していく。教育長／②大綱案では、知・徳・体の育成による人間力を磨く教育の推進と、生涯を通じた学びの促進を掲げ、将来にわたり地域社会を支え活躍できる人材の育成などに総がかりで取り組むことを目指している。このことから、これまでの家庭教育や幼児教育、学校教育、社会教育という枠組みに捉われず、連続性、系統性に留意した施策を進めていきたいと考えている。

渡邊 博夫 形式一 括

